

単元名 登場人物について、話し合おう

配当時間 12時間

- 単元の目標 (1) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。
 (2) 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像するとともに、感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などの違いに気付くことができる。
 (3) 登場人物の性格について場面の移り変わりと結び付けて想像し、感じたことや考えたことをまとめて友達と伝え合おうとする。

標準的な展開例

03010309_001

【教材名】モチモチの木 (下 P. 121～P. 136)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「モチモチの木」を読んで、学習の見通しをもつ。 ★登場人物の性格や気持ちを考えながら読み、登場人物について話し合おう。 ○教科書(P. 121)の扉の挿絵を見て、モチモチの木がどんな木なのか想像し、発表する。 ○「モチモチの木」の範読を聞き、初発の感想を書く。</p> <p>2～8 「豆太」や「じさま」の性格や気持ちを読み取る。 ★登場人物の性格や気持ちを読み取る。 ○「豆太」と「じさま」の人物像を読み取る。</p> <p>○各場面での「豆太」と「じさま」の行動や会話、様子をノートに整理する。</p> <p>○「霜月二十日のばん」の場面の「豆太」と「豆太は見た」の場面の豆太を比べて違いを話し合う。</p> <p>○「豆太」はどうしてモチモチの木の灯を見ることができたのかについて、自分の考えと理由をノートに書く。</p> <p>9～12 「豆太」の気持ちの変化や性格について感じたことを話し合う。 ★「豆太」の気持ちの変化について話し合おう。 ○「豆太」の気持ちの変化や性格について、感じたことや考えたことを話し合う。 ・「豆太」はどんな人物か。 ・「豆太」は変わったか。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>・登場人物の会話や行動に注目するように、物語を聞く視点を与える。</p> <p>・教科書(P. 134)「とらえよう」を確認し、語り手や他の登場人物の視点で書かれているところに着目して読ませる。 【評】登場人物の性格や気持ちを読み取る活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <p>・教科書(P. 134)「ノートのれい」を参照し、ノートに整理させる。 【評】登場人物の行動や会話、様子をノートに整理する活動を通して、語彙を豊かにする「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書やこれまでのノートを見直して、豆太の変化を捉えさせる。 【評】場面の違いを話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・「医者様」と「じさま」の発言を比べて考えさせる。 【評】自分の考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教科書(P. 134～135)「話し合いのれい」を見て、話し合いの仕方を確認させる。</p> <p>・自分の考えが、どの叙述から考えたのか述べさせる。</p> <p>・自分の経験と比べて考えをまとめさせる。</p> <p>・友達と自分の考えを比べながら話し合いをさせる。 【評】登場人物の気持ちの変化や性格について考えたことを伝え合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書(P. 135)「ふりかえろう」を基に、友達と話し合うことで登場人物への見方が深まったことなどを振り返らせる。</p> <p>・教科書(P. 136)「たいせつ」や「いかそう」で、登場人物の性格や捉え方などについて押さえる。</p> <p>・教科書(P. 136)「この本、読もう」で他の本への読み広げに意欲をもたせる。</p>

【 備 考 】